

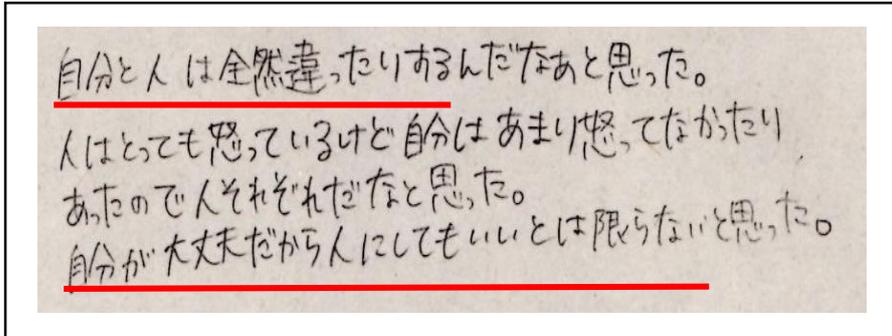
## 授業を振り返って①<高等学校>

「怒りについて考えよう」

**視点 I** 本時のねらいを達成できたか(◇印は、展開案やワークシート等の修正に関する内容です。)

### 1 怒りの感じ方の理解について

- 記入した「怒りの温度計」を友達と比較し、何に対してどの程度怒りを感じるのかは人それぞれ違うことに気づき、怒りの感じ方についての理解を深めることができました(資料1)。

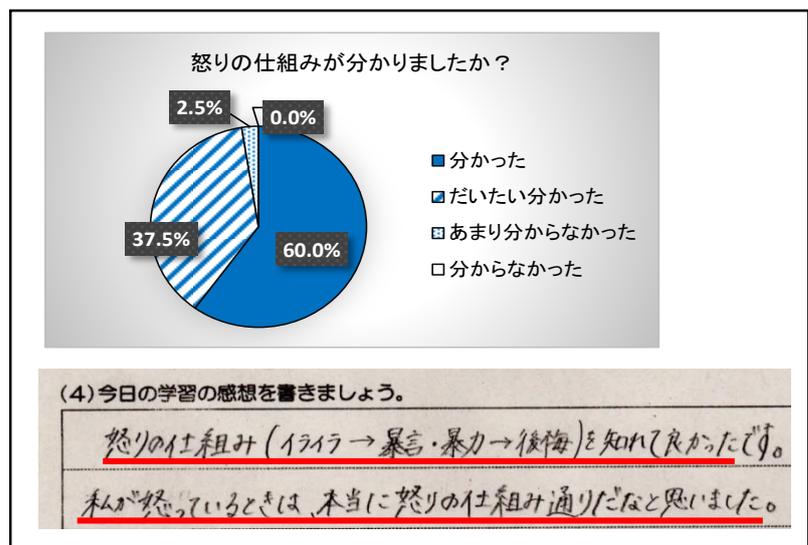


資料1 「怒りの温度計」の学習についての感想

- ◇ 「怒りの温度計」のワークシートへの記入は真剣に取り組んでいましたが、記入の際、「トラブルを起こしている相手が誰なのかによって温度が異なる」という意見が出たため、トラブルの相手についての説明を展開案に追加しました。
- ◇ 本時の導入において、「どのようなクラスにしたいですか」という教師の発問に対して、生徒からは「別がない」「特がない」という意見が多く出たため、生徒が身の回りのトラブルを想起するような発問に展開案を修正しました。

### 2 怒りの仕組みの理解について

- 振り返りシートの「怒りの仕組みが分かりましたか」の質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した生徒の合計は97.5%で、生徒は自分の怒りの仕組みを理解することの大切さを肯定的に受け止めていました(資料2)。



資料2 怒りの仕組みの理解についてのアンケート結果と生徒の感想(振り返りシートより)

- 怒りの仕組みの説明では、スライドで怒りの大きさを風船を用いて視覚的に表現したことで、

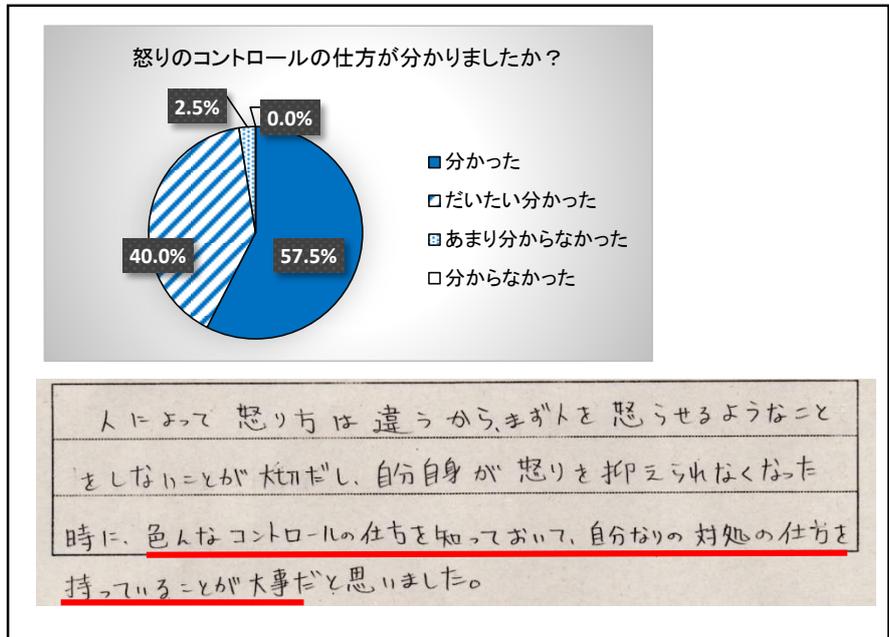
熱心にスライドを見て説明を聞き、ワークシートに取り組んでいました(資料3)。

絵とか表とかめっけ分かりやすかったし書きやすかった と思います。

資料3 怒りの仕組みについての生徒の感想

3 怒りへの対処法の理解について

- 振り返りシートの「怒りのコントロールの仕方が分かりましたか」の質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した生徒の合計は97.5%で、怒りへの対処法を知り自分なりの対処法をもっておくことが大切だという感想が見られました(資料4)。



資料4 怒りへの対処法の理解についてのアンケート結果と生徒の感想(振り返りシートより)

- 怒りへの対処法として、人に話したり友達を頼ったりするという意見もあり、本研究の内容につながる高校生の実態も確認することができました(資料5)。

人に話すと楽になるので友達を頼るのも大事だ と思います。

資料5 怒りへの対処法についての生徒の感想

- ◇ 授業で提示した怒りのコントロールの仕方の中で、①深呼吸と②カウントアップの説明にはあまり興味を示しませんでした。一方、③自分への声掛けと④リフレーミングの説明時には活発に意見が出て関心の高さがうかが

自分への声掛け	「待て」「落ち着け」「怒らない、怒らない」 自分で考えた言葉 ( まだいける )
---------	---

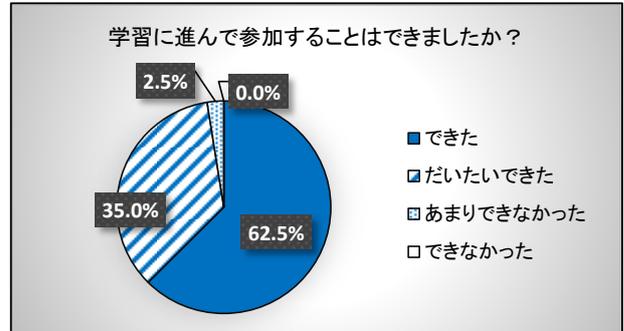
怒りについて色々知ることができました。おこたえのときの怒りのコントロールの  
しかたは、とてもさんこうになりました。あいつを、もしさんごの時とかい、もしさんご  
じゃなく閉め込められたら、など考えをいい方に 変えらるようになりたいです。

資料6 怒りへの対処法についての生徒の記述

えたため、高校生の発達段階を考慮して、③自分への声掛けと④リフレーミングを中心に学習する内容に展開案とワークシートを修正しました(資料6)。

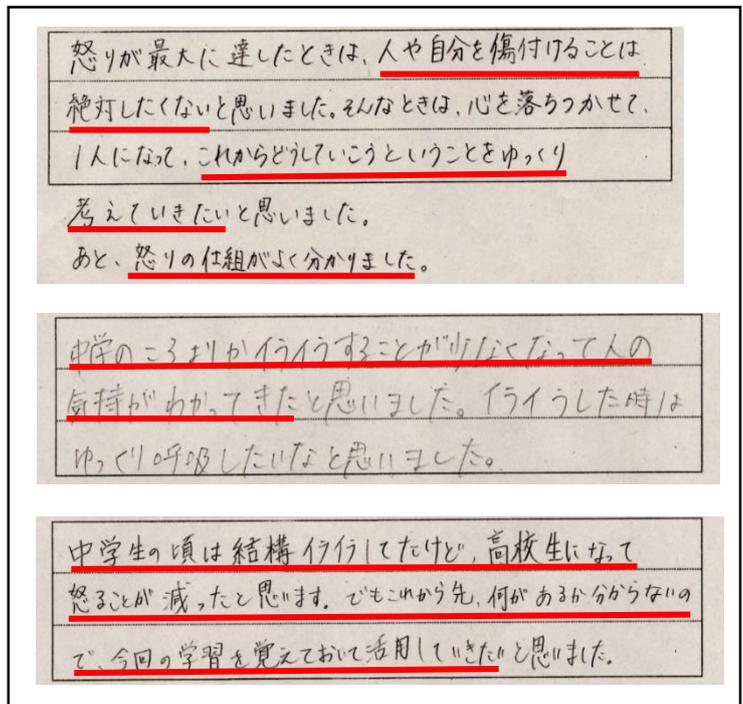
**視点Ⅱ** 次時につながる内容であったか

- 振り返りシートの「学習に進んで参加することはできましたか」の質問に対して「できた」と「だいたいできた」と回答した生徒の合計は97.5%で、ほとんどの生徒が学習に対して意欲的に取り組んだことが分かりました(資料7)。



資料7 学習への参加状況についてのアンケート結果(振り返りシートより)

- 授業全体を通して生徒は意欲的に活動に参加し、怒りの仕組みの理解を深め、自分なりの怒りへの対処法を考えていました。また、中学校時と比較した自己の怒りに対する変化と学習した内容の今後の活用について述べている生徒が多く見られ、本時の授業が自己理解を深める高校生の発達段階に応じた内容であり、次時の学習につながる内容であったことが分かりました(資料8)。



資料8 授業内容についての生徒の気付きや感想